

全国・県の学力調査を終えて

4月に2つの学力調査がありました。詳しい結果はこれからですが、現段階において以下のことが分かりました。

「読む」こと「書く」ことに課題

国語については「読む」こと、「書く」ことに課題が見られました。特に、「文中の言葉を使って書くこと」や「条件を満たすように書く」ことに課題が見られました。また、算数では「問題の意味を考え、式を立てる」ことや「図形の性質の知識・理解」の活用、「問題や提示されている資料から論拠を明確にして説明する」ことに課題が見られました。



日頃の授業においてもこうしたことに注意をしながら指導をしていく必要性を感じたところです。

詳しい結果については調査結果が届き次第お知らせいたします。

1時間以上の家庭学習が定着

家庭学習時間については、「普段1時間以上勉強」している割合は、5年生で75.0%、6年生で83.3%と高い割合になりました。「休日2時間以上勉強」している割合は5年生で37.5%、6年生で83.3%という結果でした。

本校が推奨している家庭学習時間「学年×10分+10分」が定着していることを感じました。

テレビ等の視聴と読書習慣が課題

「普段テレビ等を2時間以上視聴」している割合は、5年生で100%に対し、6年生で50%、また、「普段テレビゲームを2時間以上」している割合は、5年生で12.5%なのに対し6年生で50%という結果でした。

そして平日「読書時間が10分未満」の割合については、5年生で75%、6年生で66.7%という結果でした。

学校では毎年の図書購入とともに、移動図書等も含め、読書習慣の定着に取り組んでいます。家庭での時間の使い方が、テレビやゲームから読書へ移行してくれればと思っています。